



「永遠の愛をもって、わたしはあなたを愛した。それゆえ、わたしはあなたに、誠実を尽くし続けた。おとめイスラエルよ。わたしは再びあなたを建て直し、あなたは建て直される。」(エレミヤ 31:3~4)



エターナル・ラブ・イスラエルは、日本国内でユダヤ人に福音を伝える働きです。

- 事務局：〒226-0014 横浜市緑区台村町 186 番地 TEL:090-8729-0856
- メール：eternalloveisrael@gmail.com ●ホームページ：<http://eli.holy.jp>
- 銀行口座：三菱東京 UFJ 銀行 武蔵新城駅前支店 普通預金 0909009 エターナル・ラブ・イスラエル
- 郵便振込み：00200-9-79214 エターナル・ラブ・イスラエル



代表：宮本 純子(聖契神学校卒業、WMTC 世界宣教研修センター卒業)

## ☆イスラエル独立 74 周年記念☆



ハレルヤ！主の聖名を心から賛美いたします。

いつもエターナル・ラブ・イスラエルの働きのためにお祈りと尊い献金で支えてくださりありがとうございます。

去る 5 月 30 日、日本イスラエル親善協会主催による「イスラエル独立 74 周年記念式典」がいきいきプラザ(東京千代田区)にて開催されました。

記念式典では、両国の国歌斉唱の後、日本イスラエル親善協会大野功統会長とギラッド・コーヘン駐日イスラエル大使、外務省の長岡寛介中東アフリカ局長から挨拶がありました。

ギラッド・コーヘン駐日イスラエル大使のお話の中で私が印象に残ったのは「今年は日本とイスラエルの外交関係樹立 70 周年という記念すべき年です。両国関係は政治、経済、文化、教育、科学技術、防衛など、すべての分野に(コーヘン駐日イスラエル大使と) おいて大変良好です。今日、イスラエルに進出している日系企業は、100社



を超え、昨年の日本からの投資が過去最高の 30 億ドル規模となりました。引き続き交流や協力を深め、両国関係をさらなる高みへと進めていきます。観光も期待の大きい分野です。イスラエルはほぼコロナ前の出入国規制水準になりつつあり、日本も段階的に緩和していくものと承知しています。両国間の人の交流を再開、活発化させることが重要でしょう。イスラエル人の日本への関心の高さをつくづく実感しています。テルアビブ～成田間の航空直行便の開始が待たれるところです。すでに良好なイスラエル・日本関係ではありますが、さらなる発展可能性も大きく、両国関係は共有する利益や価値に基づいた新たな 1 ページを開きつつあります。」と、語られたことです。



2011 年の東日本大震災から 10 年の節目に駐日イスラエル大使館による震災犠牲者を追悼するプロジェクトとして制作したドキュメンタリー映画「行き止まりの向こう側」の上映もありました。また第二部として音楽家の岩下佐知子氏によるアルパ演奏が行われました。「黄金のエルサレム」などイスラエルの曲を奏でるアルパの美しい音色に感動しました。私は、ウクライナのキエフ出身のナタリアさんと再会しました。ナタリアさんは日本でウクライナ語、ロシア語、ベラルーシ語の通訳をしています。ロシアによるウクライナに(ウクライナ人のナタリアさんと)対する軍事侵攻が一刻も早く終結しますように心からお祈り致します。

## ☆シャブオット☆



今年は、去る6月4日の日没から 5 日の日没までユダヤ教三大祭りの一つである「シャブオット」でした。私は、ハバッド・ジャパンのシャブオット礼拝に出席し、多くのユダヤ人とお祝いしました。

シャブオットは、過越しの祭り(ニサンの月の14日)から7週間を経た翌日、50日目を祝う祝祭日です。「七週祭」、「五旬節」、「ペンテコステ」ともいいます。また、収穫の祭りでもあり、一年間にとれた収穫のものを全て神様に感謝します。農耕のカレンダーでは、最初の刈り入れです。

ユダヤ人たちがエルサレムの神殿に巡礼に来るのは、年に3回です。それが、「過越しの祭り」と「シャブオット七週祭」と「仮庵の祭り」の時です。

また、五旬節の時に神がシナイ山においてモーセにトーラーであるモーセ五書、律法を与えてくださったので、シナゴグではモーセの十戒を読みます。そして、礼拝後のお食事のデザートには、乳製品を食します。五旬節は、使徒 2:1~4 に書かれているように、新約聖書において、聖霊が注がれた日ペンテコステです。過越し祭の時にイエス様が十字架に架かられてから50日後のことです。聖霊が注がれて、男性も女性も救われました。また、使徒たちが人々を癒し、悪霊につかれた人々を解放しました。

「わたしはお前たちに新しい心を与え、お前たちの中に新しい霊を置く。わたしはお前たちの体から石の心を取り除き、肉の心を与える。」(エゼキエル36:26)には、回復された神の民イスラエルの内面の回心を示しています。聖霊が心に注がれることによって新しい心と新しい霊を授けられ、石の堅い心を取り除き、肉のやわらかい心に与えられるのです。神様は、シナイ山において人々に律法、十戒を与えられました。それは石板に書かれたものでした。新約聖書の五旬節においては、聖霊を授けられ、神様はご自身の律法を人の心に書かれたのです。そして、人を内側から変えられたのです。

過越しの祭りが「救いの祭り」で、あるように、このシャブオット、五旬節、ペンテコステの祭りは、捕らわれ人を解放し、神様がご自分の元に取り戻される「解放の祭り」です。また、収穫という新しい命があたえられる祭り、救われる魂の収穫です。

「収穫は多いが、働き手が少ない。だから、収穫の主に、収穫のために働き手を送ってくださるように祈りなさい。」(マタイ9:37~38)

私たちは、多くの収穫を得るために、神様に感謝をささげながら、これからも神様にお仕えしましょう。

## ☆ハナン・ルカス師を悼む☆



4月9日、ハナン・ルカス先生が天に召されました。享年 74 歳。

ハナン・ルカス先生は、2018 年4月1日(イースターと過越しの祭りの重なる特別な日、しかも初穂の祭りの初日)にエターナル・ラブ・イスラエルの活動を再開して初となる決起集会で素晴らしいメッセージを語ってくださいました。(決起集会の DVD を 1 枚 1000 円で販売しています。)

ハナン・ルカス先生は、イスラエル・メシアニック・ジュー連合(MJAI)の議長を務められ、ハイファにある「ベテスダ・アッセンブリー」の長老の一人でした。また「ビホールド・イスラエル」のアミール・ツアルファティ師の義理のお父様でもあります。メシアニック・ジューにとってリーダーであり、父のような存在でした。ハナン・ルカス先生の深い信仰とお祈りと温かい人柄、思い出を忘れません。本当にありがとうございました。天の御国での安らかな眠りと平安を心からお祈り申し上げます。

## ☆アートミニストリーよりお知らせ☆



☆ 去る5月18日(水)～30日(月)「第117回太平洋展」会場:国立新美術館に多くの方々がお越しくださり、本当にありがとうございました。

☆ 9月7日(水)～11日(日)「第64回 太平洋神奈川展」

会場:横浜市民ギャラリー(桜木町)

☆ 10月11日(火)～16日(日)「第33回 神奈川美術協会会員展」

会場:横浜市民ギャラリー(桜木町)

☆ アートは、世界共通の福音を伝える力を持っています。

アートミニストリーの働きのためにお祈りのご理解をよろしくお願い致します。

## ☆5周年を迎えました☆

☆ 2017年8月2日、ヨセフ・シュラム師の講演会で、エターナル・ラブ・イスラエルの働きを再開、セカンド・ステージに新たに立つと宣言させて頂いてから5年が経過しました。神様に心から感謝致します。

☆ エターナル・ラブ・イスラエルは、1993年4月に設立し、2007年から2017年までの10年間活動を休止しましたが、来年2023年は30周年を迎えます。今後ともよろしくお願い致します。

## ☆ヘブライ蒔絵の深淵なる世界☆



去る6月15日から26日、銀座教文館3階ギャラリーステラにて開催された「ヘブライ蒔絵の深淵なる世界 宮元美千子展」に行ってきました。

日本とイスラエルの国交樹立70周年をお祝いして、日本とイスラエルの架け橋となる素晴らしい展覧会でした。

蒔絵の匠の技で日本とイスラエル、聖書の世界と聖書の御言葉がヘブライ語で描かれ、見事な作品の数々でした。

日本とイスラエルの国交樹立70周年の記念として、エターナル・ラブ・イスラエルからハバッド・ジャパン(ラビ・メンディ・スダケヴィッチ師)に贈る記念品を宮元美千子氏に特別注文し依頼しました。ユダヤ新年にお渡しする予定です。

## ☆テレジン もう蝶々はいない☆



☆「テレジン もう蝶々はいない」コンサート

☆日時:2022年9月11日(日)開演 15時

☆会場:ウエスタ川越 大ホール

☆料金:大人 2,000円(当日:2,500円)、高校生 1,000円、中学生以下無料

☆全席自由

☆ 第1部【講演】野村路子: テレジンの子もたちの絵を語り続けた30年

☆ 第2部【コンサート】:「テレジン もう蝶々はいない」

☆ロビーにて「テレジン収容所の幼い画家たち展」の一部パネル、野村路子の書籍販売など。小・中学生は無料招待です!この機会にぜひ、ご来場ください。

☆チラシを同封させて頂きました。コンサートは日曜日の午後ですが、行かれる

方はエターナル・ラブ・イスラエルまでご連絡をください。チケットをお送りさせていただきます。

## ☆ 祈りのリクエスト ☆



「エルサレムの平和のために祈れ。『おまえを愛する人々が栄えるように。おまえの城壁のうちには、平和があるように。おまえの宮殿のうちには、繁栄があるように。』」(詩篇 122:6~7)

- ☆ 神様の深遠なるご計画の中で特別に選ばれ、愛されているユダヤ民族、平和の町であるエルサレム、イスラエルの平和が守られ、神様の計画と御心が成りますように。
- ☆ 世界中で起きている戦争、紛争、軍事侵攻、テロ、対立などがなくなりますように。
- ☆ イスラエルの国政、国内情勢のためにお祈りください。世界情勢が激しく動く中、世界中の政治的指導者たちが、神様からの正しい知恵と判断力が与えられ、神様の御心に従って政治を進める事が出来ますように。
- ☆ 世界中にいるユダヤ人がイスラエルに帰還することが出来ますように。
- ☆ 今年は、日本とイスラエルの外交関係樹立 70 周年です。日本とイスラエルの関係があらゆる分野で発展し更に良い外交関係を築くことが出来ますように心からお祈り致します。
- ☆ 新型コロナウイルスの感染拡大が世界中から一刻も早く終息しますように。一人でも多くの方の生命と健康が守られますように。コロナ禍の中で、イエス様を信じて救われる魂が世界中で多く起こされますように。
- ☆ メシアニック・ジューの一人一人の信仰を強めてくださり、イスラエル国内で大胆に伝道できますように。
- ☆ ユダヤ人伝道のために。多くのユダヤ人がこの日本で、イエス・キリストに出会い救われますように。その為に私達が情熱を持って、神様の愛をもって、伝道する事が出来ますように。
- ☆ 主のご再臨のために。イスラエルの回復と救いのために。日本のリバイバルのために。神様の御心に従って祈っていくことが出来ますように。

## ☆ ユダヤ暦 5783 年 秋のユダヤの祭り ☆



### ☆ 9月 25 日~27 日 ロシュ・ハシャナー(新年、ラッパの祭り)

ユダヤ暦新年は西暦の9月(ティシュレ月)1日から始まります。

今年は、ユダヤ暦5783 年を迎えます。神様が天地創造を行ったことを記念します。新年を祝い、魚のお頭や「甘い年となりますように。」と、リンゴにハチミツをかけて食します。

### ☆ 10 月 2 日 エルサレムの平和のために祈る国際祈禱デー

### ☆ 10 月 4 日~5 日 ヨム・キプール(大贖罪日)

ユダヤ教徒は新年ロシュ・ハシャナーから10日間懺悔をし、10日目のヨム・キプールは断食をして一年間の罪を悔い改めます。

イスラエルでは、最も重要な日で全ての施設が休みです。

### ☆ 10 月 9 日~16 日 スコット(仮庵の祭り)

イスラエルの民が出エジプト後8日間仮庵住まいだったことを記憶し、仮庵を建てて食事をします。秋の収穫を祝う意味もあります。イスラエルでは、初日のみ全ての施設が休みです。

### ☆ 10 月 17 日 シムハット・トーラー(律法の歓喜祭)

ユダヤ人は、トーラー(モーセ五書)を1年間で読了します。新年を迎えまた創世記から読み始めるにあたり、トーラーを与えてくださった神様に感謝し、読了をお祝いします。

2022 年 9 月 秋号発行(季刊誌)